

平成 29 年度砂防学会「奈良大会」若手優秀発表賞の授与について

平成 29 年度（公社）砂防学会定時総会
並びに研究発表会「奈良大会」実行委員会
委員長 小杉 賢一郎

平成 29 年度砂防学会「奈良大会」では、優れた調査研究を行い発表した若手学会員を対象として、その功績を称えるとともに、若手学会員の研究意欲の高揚と砂防に関する調査研究の進展を目的として、若手優秀発表賞を設けました。

ノミネートされた口頭ならびにポスター発表に対し、審査員による採点結果をもとに、5 名を表彰することに決定しましたので、ここに報告いたします。受賞者の皆さんの益々のご活躍と研究の発展を祈念致します。また参加して下さった若手学会員の皆さんと、採点にご協力頂いた審査員の皆さんに、この場をお借りして御礼申し上げます。

受賞者氏名（所属）と発表番号、題目

●木佐洋志（日本工営株式会社）

R2-20, 「混合粒径土石流における粒径別濃度分布に関する実験的研究」

●酒井佑一（東京大学大学院農学生命科学研究科）

R2-19, 「微細土砂を含む混合粒径土石流の応力構造」

●五十嵐和秀（国立研究開発法人土木研究所）

R1-04, 「画像の RGB 値・輝度値に着目した、山地溪流における流況変化の自動検知アルゴリズム構築の試み」

●千野佑輝（京都大学大学院農学研究科）

Pa-68, 「深層崩壊の発生予測に資する雨量指標の評価および改良に関する研究」

●村上秀香（京都大学大学院工学研究科）

Pb-53, 「ヒル谷における生産土砂の流出過程に関するシミュレーション」